

◆年間指導計画 【1年】

領域〈系統〉教材名		学習目標	評価規準例（◎は重点）
読む〈詩（巻頭詩）〉 風の五線譜	4 月	・詩の意味を捉え、読み方を工夫して音読する。	[知技] ・ 比喩，反復，体言止めなどの表現の技法を理解している。 [思判表] ◎「読むこと」において，詩に描かれた情景や心情などについて，描写をもとに捉えている。 [主] ・ 進んで描写をもとに詩の情景を想像し，学習課題に沿って音読しようとしている。
読む〈言葉の学習〉 話し方はどうかな		・相手にとって聞き取りやすいように注意して話す。 ・文章の内容を捉え，話し方について考える。	[知技] ・ 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し，語感を磨き語彙を豊かにしている。 [思判表] ◎「話すこと・聞くこと」において，相手に分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 [思判表] ◎「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えを確かなものにしていく。 [主] ・ 進んで文章を読んで話し方について考え，学習課題に沿って，相手にとって聞き取りやすいように話そうとしている。
言葉〈日本語探検〉 音声の働きや仕組み		・音声の働きや仕組みについて理解する。	[知技] ◎音声の働きや仕組みについて，理解を深めている。 [主] ・ 進んで音声の働きや仕組みについて理解し，見通しを持って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。
読む〈言語感覚〉 詩の心——発見の喜び		・詩に描かれた風景や思いを想像し，詩を音読して読み味わう。 ・詩を鑑賞し，表現の工夫などについて考える。	[知技] ・ 事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，詩を鑑賞することを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 [知技] ・ 比喩などの表現の技法を理解している。 [思判表] ◎「読むこと」において，目的に応じて場面と描写などを結び付け，内容を解釈している。 [思判表] ◎「読むこと」において，詩の構成や表現の効果について，根拠を明確にして考えている。 [主] ・ 進んで詩の情景を想像しながら音読し，学習課題に沿って，表現の工夫について話し合おうとしている。
学びの扉／学びを支える言葉の力 〈文学的な言葉の力—表現する力〉 描写や表現技法を用いる		・表現技法を理解し，具体的な描写を取り入れて表現を練りあげる。	[知技] ◎比喩，反復，倒置，体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 [思判表] ◎「書くこと」において，表現技法や描写の仕方などを確かめて，文章を整えている。 [主] ・ 進んで描写や表現技法について理解し，学習課題に沿って表現を練りあげようとしている。
書く〈詩歌創作〉 小さな発見を詩にしよう	5 月	・言葉を選び，表現を工夫して，詩を仕上げる。	[知技] ・ 比喩，反復，倒置，体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 [思判表] ◎「書くこと」において，読み手の立場に立って，表記や語句の用法，叙述の仕方などを確かめて，詩を整えている。 [主] ・ 表現を工夫することに粘り強く取り組み，学習課題に沿って詩を仕上げようとしている。

<p>言葉〈文法の窓／文法解説〉 文法とは・言葉の単位——切り方変われば意味変わる</p>	<p>・言葉の単位について理解する。</p>	<p>[知技]◎言葉の単位について理解している。 [主]・進んで言葉の単位について理解し、学習課題に沿って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>言葉〈漢字道場〉 活字と書き文字・画数・筆順</p>	<p>・活字と書き文字の違い、画数、筆順について理解し、漢字を文や文章の中で使う。</p>	<p>[知技]◎活字と書き文字の違い、画数、筆順について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。 [主]・進んで活字と書き文字の違い、画数、筆順について理解し、学習課題に沿って学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>読む〈文学一〉 飛べ かもめ</p>	<p>・人物や情景を描いた表現に注意して、作品を読み味わう。 ・作品から読み取ったことをもとに、想像したことをまとめる。</p>	<p>[知技]・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、文章を読むことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [思判表]◎「読むこと」において、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 [思判表]◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。 [主]・進んで人物の心情などに注意しながら読み、学習課題に沿って、想像したメッセージを伝え合おうとしている。</p>
<p>学びの扉／学びを支える言葉の力 〈文学的な言葉の力—解釈する力〉 文脈を捉え、伏線に気づく</p>	<p>・場面の展開や登場人物などの描写に注意して、文脈を捉え、伏線に気づく。</p>	<p>[知技]・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して文章を読むことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [思判表]◎「読むこと」において、場面の展開や登場人物の心情などについて、描写をもとに捉えている。 [主]・進んで文脈や伏線について理解し、学習課題に沿って場面の展開や登場人物の心情などを捉えようとしている。</p>
<p>読む〈文学一〉 さんちき</p>	<p>6月 ・人物や情景を描いた表現に注意して、作品を読み味わう。 ・作品から読み取ったことをもとに、想像したことをまとめる。</p>	<p>[知技]・様子を表す語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [思判表]◎「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 [思判表]◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。 [主]・進んで人物や情景を描いた表現に注意して読み、学習課題に沿って、人物の心情を想像してまとめようとしている。</p>

<p>学びの扉／学びを支える言葉の力 (対話的な言葉の力ー伝え合う力) 相手の話を受け止め引き出す</p>		<ul style="list-style-type: none"> 相手の話を引き出すための質問の仕方を理解し、質問しながら話の内容を捉える。 	<p>[思判表] ◎「話すこと・聞くこと」において、質問しながら話の内容を捉えている。 [主] ・進んで相手の話を引き出すための質問の仕方を理解し、学習課題に沿って、質問しながら話の内容を捉えようとしている。</p>
<p>話す・聞く〈聞く〉 話を聞いて質問しよう</p>		<ul style="list-style-type: none"> メモを取ったり、質問したりしながら、話の内容を捉え、考えをまとめる。 	<p>[思判表] ◎「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。 [主] ・メモを取ったり質問したりしながら話の内容を捉えることに粘り強く取り組み、学習課題に沿って考えをまとめようとしている。</p>
<p>言葉〈日本語探検〉 接続する語句・指示する語句 ——無重力空間を楽しもう</p>		<ul style="list-style-type: none"> 接続する語句と指示する語句の役割について理解する。 	<p>[知技] ◎指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 [主] ・進んで指示する語句と接続する語句の役割について理解し、見通しを持って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>読む〈構成・展開〉 オオカミを見る目</p>		<ul style="list-style-type: none"> 段落の役割や段落どうしの関係に着目して文章の構成を捉え、内容を読み取る。 文章の書き方の工夫について考える。 	<p>[知技] ・印象を表す語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [知技] ・指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 [知技] ・原因と結果、考えと根拠など情報と情報との関係について理解している。 [知技] ・比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。 [思判表] ◎「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と考えとの関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。 [思判表] ◎「読むこと」において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。 [主] ・進んで段落の役割や段落どうしの関係に着目して読み、学習課題に沿って、文章の書き方の工夫について話し合おうとしている。</p>
<p>書く〈伝達〉 調べて分かったことを伝えよう——「食文化」のレポート</p>	7月	<ul style="list-style-type: none"> ふだんの生活の中からテーマを決め、調べて分かったことを整理する。 調べて分かった事実や自分の考えがよく伝わるように、分かりやすい構成でレポートを書く。 	<p>[知技] ・原因と結果、考えと根拠など情報と情報との関係について理解している。 [知技] ・比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 [思判表] ◎「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 [思判表] ◎「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 [主] ・積極的にテーマを考え、情報を収集・整理し、学習の見通しを持って、分かりやすい構成でレポートを書こうとしている。</p>

<p>言葉〈文法の窓／文法解説〉 文の成分・連文節——文節をつなぐ見えない糸</p>		<p>・文の成分や、連文節、文節どうしの関係について理解する。</p>	<p>[知技] ◎文の成分や、連文節、文節どうしの関係について理解している。 [主] ・進んで文の成分や、連文節、文節どうしの関係について理解し、学習課題に沿って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>言葉〈漢字道場〉 音読み・訓読み</p>		<p>・漢字の音読みと訓読みについて理解し、漢字を文や文章の中で使う。</p>	<p>[知技] ◎漢字の音読みと訓読みについて理解し、漢字を文や文章の中で使っている。 [主] ・進んで漢字の音読みと訓読みについて理解し、学習課題に沿って学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>読む〈読書〉 碑</p>		<p>・さまざまな本や資料で調べ、知識を広げたり考えを深めたりする。</p>	<p>[知技] ◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 [思判表] ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。 [主] ・進んで読書の役割について理解を深め、これまでの学習を生かして、さまざまな本や資料で調べようとしている。</p>
<p>学びの扉／学びを支える言葉の力 〈論理的な言葉の力—分析する力〉 事実と考えを区別する</p>		<p>・事実と考え、推測と意見の違いを理解し、それらを区別して文章の内容を捉える。</p>	<p>[知技] ◎事実と考え、推測と意見の違いについて理解している。 [思判表] ◎「読むこと」において、事実と考え、推測と意見の違いなどについて叙述をもとに捉えている。 [主] ・進んで事実と考え、推測と意見の違いを理解し、学習課題に沿って文章の内容を捉えようとしている。</p>
<p>読む〈吟味・判断〉 私のタンポポ研究</p>	9月	<p>・事実から筆者がどのように考えを導いているかを捉える。 ・必要な情報を取り出して要約する。</p>	<p>[知技] ・行為を表す語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [知技] ・考えと根拠など情報と情報との関係について理解している。 [知技] ・比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。 [思判表] ◎「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と考えとの関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。 [思判表] ◎「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。 [主] ・進んで事実と筆者の考えとの関係を捉え、学習課題に沿って、必要な情報を取り出して要約しようとしている。</p>
<p>学びの扉／学びを支える言葉の力 〈論理的な言葉の力—議論する力〉 根拠を挙げて考えを述べる</p>		<p>・考えと根拠との関係を理解し、根拠を明確にして文章を書く。</p>	<p>[知技] ◎考えと根拠との関係について理解している。 [思判表] ◎「書くこと」において、根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 [主] ・進んで考えと根拠との関係を理解し、学習課題に沿って、根拠を明確にして文章を書こうとしている。</p>

<p>書く〈論証・説得〉 根拠を明確にして書こう—— 「写真」の意見文</p>		<p>・説得力のある根拠を考え、根拠を明確に示して自分の意見を書く。 ・根拠の明確さなどについて、読み手からの助言を踏まえ、自分の意見文のよい点や改善点を見いだす。</p>	<p>[知技] ・意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 [知技] ・比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。 [思判表] ◎「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 [思判表] ◎「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 [主] ・根拠を明確にしたり、読み手の助言を踏まえて改善点を見いだしたりすることに粘り強く取り組み、学習の見通しを持って意見文を書こうとしている。</p>
<p>話す・聞く〈話す〉 中心を明確にして話そう—— 「似ている言葉」スピーチ</p>		<p>・話の中心を明確にし、事実と考えとの関係に注意して、構成を考える。 ・聞き手の反応を見ながら、分かりやすい話し方を工夫する。</p>	<p>[知技] ・語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [知技] ・考えと根拠など情報と情報との関係について理解している。 [知技] ・比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方について理解を深め、それらを使っている。 [思判表] ◎「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と考えとの関係などに注意して、話の構成を考えている。 [思判表] ◎「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 [主] ・話の中心を明確にすることに粘り強く取り組み、学習の見通しを持って、聞き手にとって分かりやすいスピーチをしようとしている。</p>
<p>言葉〈日本語探検〉 方言と共通語——全国のグルメ祭りに行こう</p>		<p>・方言と共通語の果たす役割について理解する。</p>	<p>[知技] ◎方言と共通語の果たす役割について理解している。 [主] ・進んで方言と共通語の果たす役割について理解し、見通しを持って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>言葉〈漢字道場〉 漢字の部首</p>		<p>・漢字の部首とその意味について理解し、漢字を文や文章の中で使う。</p>	<p>[知技] ◎漢字の部首とその意味について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。 [主] ・進んで漢字の部首とその意味について理解し、学習課題に沿って学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>読む〈詩（日本語のしらべ）〉 月夜の浜辺</p>	10月	<p>・詩の中の言葉から情景や心情を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。</p>	<p>[知技] ・反復などの表現の技法を理解している。 [思判表] ◎「読むこと」において、場面の展開や人物の心情などについて、描写をもとに捉えている。 [主] ・進んで詩に描かれた情景や心情を捉え、学習課題に沿って朗読しようとしている。</p>

<p>古典 移り行く浦島太郎の物語</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・古典にはさまざまな種類の作品があることを知る。 	<p>[知技] ◎古典にはさまざまな種類の作品があることを理解している。 [思判表] ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしてしている。 [主] ・進んで文章を読んで古典の世界に親しみ、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えをもちようとしている。</p>
<p>古典 伊曾保物語</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いに注意して音読し、古文の読み方に慣れる。 ・文章の構成などの特徴について考える。 	<p>[知技] ◎音読に必要な文語の決まりを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 [思判表] ◎「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 [主] ・進んで音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って、文章の構成などの工夫について考えをまとめようとしている。</p>
<p>古典 竹取物語</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・現代語とは異なる言葉や表現に注意して音読し、古典の世界に触れる。 ・古典の作品に描かれた人間の心のありようについて考える。 	<p>[知技] ◎音読に必要な文語の決まりを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 [思判表] ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしてしている。 [主] ・進んで音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って、古典に描かれた人間の心のありようについて話し合おうとしている。</p>
<p>古典 矛盾</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・漢文特有のリズムを味わい、訓読に必要な決まりを知る。 ・故事成語について調べ、体験や出来事を文章にまとめる。 	<p>[知技] ◎音読に必要な訓読の仕方を知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 [思判表] ◎「書くこと」において、目的や意図に応じて題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしてしている。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について考えている。 [主] ・進んで音読して漢文特有のリズムを味わい、学習課題に沿って、故事成語について調べて自分の考えを文章にまとめようとしている。</p>
<p>書く〈通信・手紙〉 案内や報告の文章を書こう</p>	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・伝える相手や目的に応じて、必要な情報を選び出してまとめる。 	<p>[思判表] ◎「書くこと」において、目的や意図に応じて材料を整理し伝えたいことを明確にしてしている。 [主] ・積極的に掲載する情報を選択し、学習課題に沿って案内や報告の文章を書こうとしている。</p>
<p>言葉〈日本語探検〉 語の意味と文脈・多義語—— 幻のキノコを「とり」に行こう</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・語のさまざまな意味や、文脈の働き、多義語について理解する。 	<p>[知技] ◎語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [主] ・進んで語のさまざまな意味や、文脈の働き、多義語について理解し、見通しを持って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>

<p>言葉〈文法の窓／文法解説〉 単語の分類——単語分類マシンを完成させよう</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・単語の類別について理解する。 	<p>[知技] ◎単語の類別について理解している。 [主] ・進んで単語の類別について理解し、学習課題に沿って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>読む〈文学二〉 少年の日の思い出</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな場面での人物や情景の描写に着目して、作品を読み深める。 ・作品の構成の工夫や表現の効果について考える。 	<p>[知技] ・心情を表す語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [思判表] ◎「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。 [思判表] ◎「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 [主] ・進んでさまざまな場面の描写をもとに作品を読み深め、学習課題に沿って、作品の構成の工夫や表現の効果について話し合おうとしている。</p>
<p>書く〈描写・表現〉 視点を変えて心情を描こう</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・視点を決め、人物の心情などを描き出すため、ふさわしい言葉を選んで文章を練りあげる。 	<p>[知技] ・心情を表す語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [思判表] ◎「書くこと」において、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。 [主] ・進んで視点を決めて心情を描き、学習課題に沿って、ふさわしい言葉を選んで文章を練りあげようとしている。</p>
<p>言葉〈文法の窓／文法解説〉 名詞——「名前」はいろいろ</p>	1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞の種類について理解する。 	<p>[知技] ◎名詞の種類について理解している。 [主] ・進んで名詞の種類について理解し、学習課題に沿って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>言葉〈漢字道場〉 他教科で学ぶ漢字</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使う。 	<p>[知技] ◎他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。 [主] ・進んで他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、学習課題に沿って学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。</p>
<p>読む〈読書〉 風を受けて走れ</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・読んだ本を紹介し合い、知識を広げたり考えを深めたりする。 	<p>[知技] ・引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 [知技] ◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 [思判表] ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。 [主] ・進んで読書の役割について理解を深め、これまでの学習を生かして、おすすめの本のポップを作ろうとしている。</p>

<p>読む〈言葉とメディア〉 ニュースの見方を考えよう</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読み、ニュースを比べて、ニュースの見方について自分の考えを持つ。 ・意図に応じて材料を選び、ニュースを編集する。 	<p>[知技]・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>[知技]・比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。</p> <p>[思判表]◎「書くこと」において、目的や意図に応じて材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>[思判表]◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。</p> <p>[主]・積極的にニュースを編集し、学習課題に沿って、ニュースの見方について考えを持とうとしている。</p>
<p>学びの扉／学びを支える言葉の力 〈論理的な言葉の力ー整理する力〉 分類する・比較する</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・分類や比較の仕方を理解し、情報を整理する。 	<p>[知技]◎分類や比較などの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。</p> <p>[思判表]◎「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて材料を整理している。</p> <p>[主]・進んで分類や比較の仕方を理解し、学習課題に沿って情報を整理しようとしている。</p>
<p>話す・聞く〈話し合う〉 話し合いで理解を深めようー グループディスカッション</p>	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの体験や考えを出し合って整理する。 ・話し合いの展開に注意し、お互いの発言を結び付けて、考えをまとめる。 	<p>[知技]・比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。</p> <p>[思判表]◎「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。</p> <p>[思判表]◎「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。</p> <p>[主]・積極的に話題に関連する体験や考えを出し合い、学習の見通しを持って、考えをまとめるために話し合おうとしている。</p>
<p>書く〈感性・想像〉 心に残る出来事を表現しよう ー日常生活から生まれる随筆</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中から題材を決め、伝えたい出来事と想いを明確にする。 ・出来事と想いがよく伝わるように、表現を工夫して随筆を書く。 	<p>[知技]・心情を表す語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>[知技]・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。</p> <p>[思判表]◎「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>[思判表]◎「書くこと」において、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</p> <p>[主]・積極的に題材を見つけ、学習の見通しを持って、表現を工夫しながら随筆を書こうとしている。</p>
<p>言葉〈文法の窓／文法解説〉 連体詞・副詞・接続詞・感動詞 ——「桃太郎」を修復せよ</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・連体詞・副詞・接続詞・感動詞の種類や働きについて理解する。 	<p>[知技]◎連体詞・副詞・接続詞・感動詞について理解している。</p> <p>[主]・進んで連体詞・副詞・接続詞・感動詞について理解し、学習課題に沿って学んだことを話や文章の中で生かそうとしている。</p>

言葉〈漢字道場〉 漢字の成り立ち		<ul style="list-style-type: none"> 漢字の成り立ちについて理解し、漢字を文や文章の中で使う。 	<p>[知技] ◎漢字の成り立ちについて理解し、漢字を文や文章の中で使っている。</p> <p>[主] ・進んで漢字の成り立ちについて理解し、学習課題に沿って学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。</p>
読む〈詩（詩の言葉）〉 わたしの中にも	3 月	<ul style="list-style-type: none"> 詩に描かれた情景や心情を的確に捉える。 詩を読んで理解したことをもとに、考えを深める。 	<p>[知技] 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。</p> <p>[思判表] ◎「読むこと」において、場面の展開や人物の心情などについて、描写をもとに捉えている。</p> <p>[思判表] ◎「読むこと」において、詩を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。</p> <p>[主] ・進んで詩に描かれた情景や心情を捉え、学習課題に沿って、気づいたことや考えたことを話し合おうとしている。</p>
読む〈読書〉 トロッコ		<ul style="list-style-type: none"> 文学作品を読み、情景描写などの表現の効果について考える。 	<p>[知技] ◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。</p> <p>[思判表] ◎「読むこと」において、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。</p> <p>[主] ・進んで読書の役割について理解を深め、これまでの学習を生かして、さまざまな本を読もうとしている。</p>